

# 令和6年度 事業計画

## I 基本方針

令和6年1月1日能登半島地震に見舞われ、特に奥能登地区に甚大な被害をもたらしました。輪島市においても多くの建物が倒壊し、道路が寸断され電気や水道などのライフラインも止まるなど非常に大きな被害を受けました。その状況の中で国・県・市などの行政や様々な業者・団体が一丸となって復旧・復興に向け取り組んでいます。しかしながら今現在においても日常に戻ったとは言えず、避難者がまだ多くいる中、シルバー人材センターの運営も非常に厳しい状況となっています。

このような状況の中、当センターは基本理念の「自主・自立・共働・共助」のもと、より公益性を高めるとともに関係機関のご支援・ご協力をいただきながら魅力あるセンターを目指します。特に女性会員の加入促進とそれに向けた就業機会の提供を図り、高齢者の豊富な経験や知識を有効に活用できる環境づくりに取り組み、地域から信頼されるシルバー人材センターの構築に努めて参ります。また、「安全は全てに優先する」を最重要課題として、積極的に研修会・講習会等を開催し、事故の未然防止を図り、会員及び役職員の安全な就業活動が十分生かされるセンターの運営を目指します。

当センターの令和6年度の事業推進にあたり、地域住民に寄り添い、復旧・復興に向け邁進するため、次の五つの重点項目を掲げて事業を着実に実施します。

1. 会員の確保
2. 普及啓発活動の推進
3. 安全・適正就業の徹底
4. 就業機会の拡大
5. 運営体制の充実・強化

## Ⅱ 実施計画

### 1. 会員の確保

#### (1) 入会の促進

ここ数年会員数は漸減の傾向にあり、心身共に健康で働く意欲のある会員の加入は喫緊の課題となっています。センターのホームページ、新聞の折り込みチラシ、地域のケーブルテレビ、行政とタイアップしたイベント等における広報活動を展開し、シルバー人材センター事業を広く周知して会員募集を行ってまいります。また女性会員の加入促進を図るため、月2回の定期入会説明会の他に、希望者の都合に合わせた入会説明会を随時実施いたします。

### 2. 普及啓発活動の推進

#### (1) 広報活動の充実

シルバー人材センター事業を広く市民等に理解してもらうため、市広報誌への掲載ホームページによる情報発信等により、事業の意義と基本的な理念及び仕組み等を市民に周知し、高齢者の入会促進や受注開拓に結び付くよう広報活動を行います。また当センター発行の広報誌を市内全世帯に配布し、シルバー人材センター事業をより身近に感じる環境作りに努めます。

#### (2) ボランティア活動の推進

シルバー人材センターは、心身ともに健康な高齢者で構成された公益法人であり、地域社会に貢献することを目的としています。今年度も公益目的事業活動の一環として、春秋のごみゼロ運動、公共施設の草刈り、千枚田の田植え、稲刈りなどのボランティア活動を積極的に推進します。

### 3. 安全・適正就業の徹底

#### (1) 安全就業の徹底

安全就業はシルバー事業運営の基本であります。会員自らが「安全はすべてに優先する」「自分の安全は自分で守る」との信念を持って仕事に臨むとともに、日常的な健康管理、体力づくり、健康診断の受診などに努め、健康維持に自主的に取り組むよう周知を図ります。また、安全パトロールや巡回指導、研修会・講習会の実施、会報等による啓発、安全標語の募集を通じて安全意識の高揚に努めます。

#### (2) 適正就業の推進

公益社団法人として、職業安定法・派遣法等の法令厳守を常に意識しながら事業運営にあたるとともに、会員の適正な就業を確保するため、会員の働き方に係る重要な指針となっている「適正就業ガイドライン」や「発注者向けパンフレット」を活用しながら、発注者へのセンターにおける適正な就業の在り方を周知し、理解を得ながら厳正かつ適正な就業の確保に努めます。また、就業状況の自主点検や業務仕様書等の見直し、派遣事業への切り替えも視野に入れながら適切な就業形態の確保に努め、就業機会の公平化、適正化に努めます。

### 4. 就業機会の拡大

#### (1) 就業先の確保

高齢者が生涯現役で社会参加することが求められていることを背景に、発注者のニーズや会員の要望を的確に把握し、一人でも多くの会員が希望する職種に就業できるよう、引き続き新規就業先の開拓・確保に努めるとともに、既存契約先の就業実態の把握と新たな仕事の発掘に努めます。

## (2) 会員資質の向上

多様化する地域の顧客ニーズに迅速かつ柔軟に対応し、顧客の満足度を高めるためには会員の資質向上が不可欠となります。そのためには、シルバー人材センターの基本理念を周知させるとともに、講習会や研修会の受講状況、就業した仕事の出来具合やマナー、発注者からの評価等の情報を把握して一層の職業マッチング向上に活用します。また、継続受注や就業の拡大に繋がるよう、技能の研鑽・向上のための剪定、刈払い機、ハウスクリーニングなどの技能講習・研修会等を実施して会員のスキルアップを目指します。

## (3) 職群別会員の後継者育成

一部の職群では少ない会員数で多くの受注を捌く状況が常態化しつつあります。特に高度な技能を必要とする職群に見受けられるため、後継者の育成が必要であり、講習会の開催や会員の募集を通じて後継者不足の解消を図ります。

## (4) 独自事業の推進

従前から継続しているフリーマーケット「よっていかんげ」は、地物野菜やリサイクル商品を販売しており、当センター独自事業の柱として円滑な運営に努めます。毎年年末には正月飾り、しめ縄等を製作販売して着実に成果をあげており、更なる技術向上を図り、創意工夫を加えた新商品開発に取り組みます。また地域におけるわら細工の担い手が少なくなっており、技術を伝承していく会員の育成に努めます。

## 5. 組織体制の充実・強化

### (1) 理事会機能の強化

役職員は、公共性・公益性を有するシルバー事業を推進する従事者として、それ相応の自覚と責任が求められています。公益法人としての職務を円滑に推進するため、綱紀の維持、モラル向上、研修事業への参加などにより、役職員一人ひとりの意識改革に取り組みます。

### (2) 事務局体制の充実強化

事務局は組織運営を統括し、シルバー人材センターの目的を実現するための実質的作業を行う部門です。事業を円滑に推進するため、OA 機器等の活用による徹底した事務事業の見直しを行うとともに、職員の資質向上を目的とした各種研修会や講習会への参加、連合会・他センターとの人事交流を促進し、スキルアップに努めます。

### (3) 自主財源の確保

会員の専門的な職業経験を活かした就業機会の創出や派遣事業の積極的な推進により、就業機会の拡大と会員の増強を図り自主財源の確保に努めます。また事務事業の実施方法や管理運営費の見直しを行い、地域のニーズに柔軟に対応できる健全で効率的な財政運営を推進します。

### (4) 補助金の確保

国・市からの補助金につきましては、その依存体質からの離脱を目指しますが、現在の財政状況に鑑みた場合、必要不可欠な財源であり引き続き国等へ要望活動を実施して補助金の確保に努めます。

## (5) デジタル化の推進

フリーランス新法に対応するためNRI情報システム「Smile to Smile」を活用し、今後徐々にインターネット上でセンターのお知らせや就業条件明示、配分金明細等を確認できるように整備することに努めます。

## Ⅲ 事業目標

令和6年度事業推進にあたり下記により具体的目標設定いたします。

項目	目標値	令和4年度数値
会員数	350人	358人
受託件数	1,050件	3,457件
就業延人員	10,000人	30,044人
契約金額	62,100千円	127,471千円
年間就業率	90.00%	86.00%